

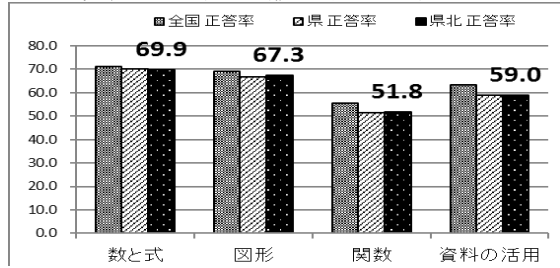
数学（中学校）

〔数学 A〕

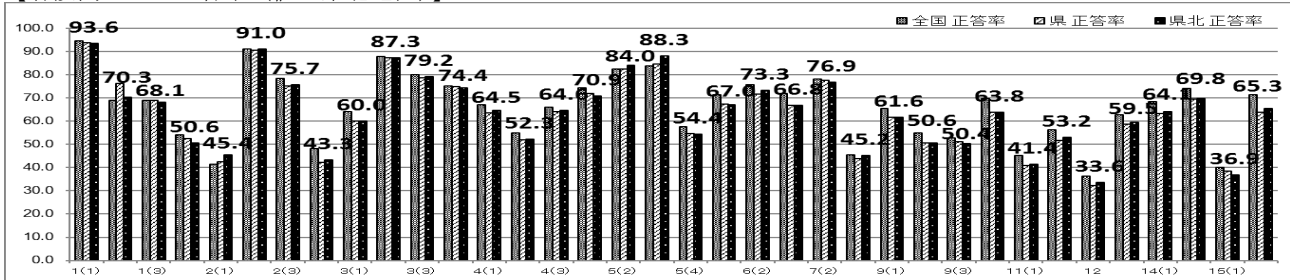
正答率	H30	全国比
県北	64	-2.1
県	64	-2.1
全国	66.1	

全国平均を下回っており、課題分析と対策が必要である。領域別ではどの領域も全国平均を下回っているが、関数領域、資料の活用の領域が大きな課題と言える。

※ 領域別の正答率（値は県北地区）



【各設問ごとの正答率（値は県北地区）】



【結果】（課題として挙げた問題は、正答率の低い問題や過去に課題とされていた問題である。）

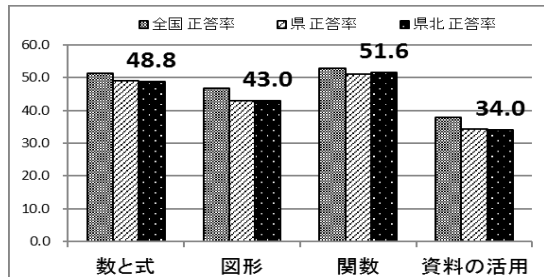
- 単項式の除法 $6a^2b \div 3a$ について正しく計算することができている。2
- 回転体、見取図、投影図など空間図形の構成についての理解が深まってきている。[5](2)(3)
- 正負の数で表された「最高気温」と「最低気温」との差を求める計算式を決定することに課題がある。[1](4)
- 等式の性質を用いて、目的に応じて式変形することに課題がある。[2](4)
- 一次関数の式から変化の割合を読み取り、 x の変化に伴う y の増加量を求めることに課題がある。1

〔数学 B〕

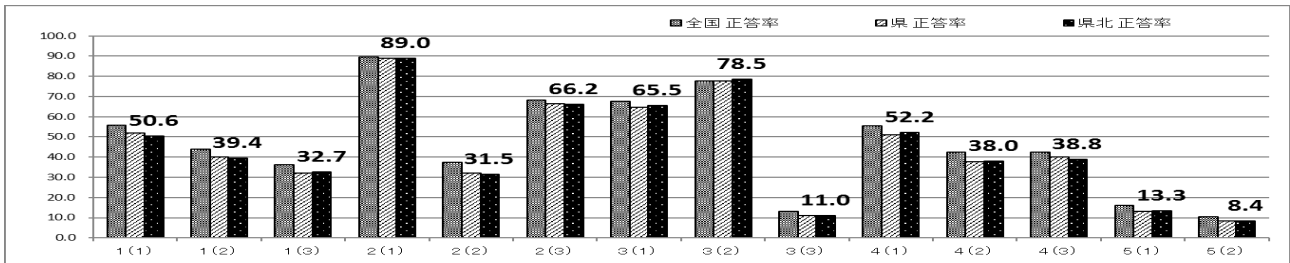
正答率	H30	全国比
県北	44	-2.9
県	44	-2.9
全国	46.9	

県北域内は全国平均を下回った。領域別で図形領域と資料の活用の領域が大きく下回り、県北域内の大きな課題である。

※ 領域別の正答率（値は県北地区）



【各設問ごとの正答率（値は県北地区）】



【結果】（課題として挙げた問題は、正答率の低い問題や過去に課題とされていた問題である。）

- 計算の規則を適用し、具体的に値を代入し計算結果を求めることの正答率が高い。[2](1)
- ダイアグラムを読み取り、列車のすれ違いの地点を答える問題の正答率が高い。[3](2)
- 放送する曲を選ぶとき、二つの確率を求め比較しながら理由を記述することに課題がある。[1](3)
- 計算結果が常に4の倍数になることを説明するために、 $4(n-3)$ の形に変形し説明することが十分でない。2
- ある地点を通過する時間の差を求める方法の記述では、正答の条件を十分に満たすことができていない。無解答率も36ポイントである3
- 割合を百分率にするために100をかけることをしていない解答が多い。[5](1)
- $9a \div a = 9$ により、通常料金にかかわらず常に9人分であることを式から解釈することができていない。[5](2)